

# 基本 計画



## 3 畜産業

### 現状と課題

村内でも高い売り上げを誇る畜産業については、今後とも安定的な経営を維持していくための環境整備が求められます。

本村ではこれまで、畜産にかかる施設整備や機械の導入に取り組んでおり、畜産経営の効率化及び増頭にもつながっています。また、牛舎や堆肥舎の改善・整備や粗飼料※<sup>1</sup>の導入に関する支援にも取り組んでおり、畜産環境の向上が図られています。

高齢化が進む中、飼養が困難な農家も増えつつあるため、高齢者でも飼育が可能な体制を構築するとともに、牛舎や堆肥舎についても農家の状況に応じて改善を図る必要があります。

また、優良牛の保留・導入については、奨励金等の交付により、改良と増殖に大きくつながっていると思われるものの、今後さらなる改良を図るため多様な奨励金等を検討していくことが求められます。

畜産業を担う団体については、和牛改良組合など各種団体の活動支援やヘルパー事業の推進を図ってきましたが、高齢化や近年の急速な増頭に伴い、引き出し等の作業に関してさらなる人員が必要となるため、その対応についても今後検討していく必要があります。

### 基本方針

畜産にかかる施設等の基盤整備や優良牛の導入支援、粗飼料対策により畜産業の安定的な経営を推進します。また、各種団体の活動支援やヘルパー事業の促進により団体の育成に取り組みます。

※<sup>1</sup> 粗飼料:粗繊維含量が高く、嵩のある飼料。生草・乾牧草・サイレージ・藁の類。

## 施策の体系



## 施策

### ① 経営体系の整備

- 子牛生産型を中心に子牛の早期出荷や、生産コストの削減など効率的な生産体制の整備に取り組みます。また、増頭のみにとらわれない経営基盤の強化、山間地域における集約的な施設整備を図ります。

### ② 畜舎環境の改善・整備

- 経営体系に応じ、畜舎や堆肥舎・処理施設の改善・整備を推進します。

# 基本 計画



## ③ 優良牛の導入

- 各種助成金等を活用し、育種価の高い増体や、繁殖性に優れた子牛を県内外から保留・導入し、優良種雄牛を交配して県外購買者にもニーズ※1のある改良をめざします。

## ④ 粗飼料対策

- JAや和牛改良組合等と連携を図り、粗飼料の流通体制をさらに強化するとともに、近隣市町村の放牧場の利用促進をめざします。

## ⑤ 団体の育成

- 和牛改良組合及び和牛改良組合青年部の活動支援を行うとともに、ヘルパー事業の促進・充実を図ります。

※1 ニーズ:必要。要求。需要。



■子牛セリの様子

